

(様式2)

令和 2 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |  |
|---------|-----------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1571500543      |            |  |
| 法人名     | 株式会社パートナー       |            |  |
| 事業所名    | グループホームゆうなぎ     |            |  |
| 所在地     | 新潟県糸魚川市桜木 45番地1 |            |  |
| 自己評価作成日 | 2年8月10日         | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/>

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                |  |  |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 公益社団法人新潟県社会福祉士会                |  |  |
| 所在地   | 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和2年10月31日                     |  |  |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人に合わせた個別ケアや創意工夫が継続的に生活に活かされている。地域との繋がりを継続し支援している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は旧能生町の自然豊かな環境の中に所在し、周囲には田園が広がる中に住宅や商業施設もあり、利用者は生活の利便性を得ながら過ごす事ができている。事業所の建物の1階に同法人が運営するデイサービスが展開されており、2階スペースが当事業所となっている。

開設にあたっては、代表者がグループホームの目指すサービスの質にこだわり、利用者本人が自分らしく、人生の終わりの時期を夕方の海のように穏やかに過ごしてもらいたいと事業所名を「ゆうなぎ」とし、その思いを込めている。また、事業所は開設時より家族・地域とともに事業所の運営を行うことを目指しており、入居後も家族との関係性が途切れない支援や地域の中で暮らすことを基本に事業を展開している。地域との交流においては、職員は地元出身者を配属しながら、一年を通じて敬老会や祭りなどの地域行事やクリーン作戦などへの参加をはじめ、児童館や他の社会福祉施設との交流も継続している。地域住民からは畑でとれた野菜の差し入れがあったり、散歩の途中で魚を分けて貰ったりと、当たり前の付き合いができている。

職員は常に統一した意識の中で、利用者と一緒に楽しく一人ひとりに寄り添いながら過ごすことに働く喜びを感じており、風通しの良い職場作りがなされている。認知症があってもその人らしく、生きがいを持って過ごせるように、アセスメントを繰り返し、情報を共有しながら支援が行われており、また、自身の質の向上のために研修会に参加して学ぶ機会を持ち、事業所全体が質の向上を行えるように、運営者、管理者、職員が一丸となって取り組んでいる。

## 自己評価および外部評価結果

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                     | 自己評価                                                                                                     | 外部評価                                                                                                                                                                                       |                   |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|            |     |                                                                                         | 実践状況                                                                                                     | 実践状況                                                                                                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                         |                                                                                                          |                                                                                                                                                                                            |                   |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 職員全体で学習会を行い、職員は理念を共有できており、理念に沿ったケアに努めている。                                                                | 開設時のスタッフにより事業所の目指す方向性として「運営方針」が策定され、日々振り返りを行いながら、方針に即したケアの実践に向けて取り組んでいる。また、定期的に見直しを行いながら、現在まで引き継がれ、職員のケアの拠りどころとなっている。                                                                      |                   |
| 2          | (2) | グループホームゆうなぎ<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                        | 理念の中にも地域の中で暮らし続けられるようにとなっており、地域の方々との交流を図っている。地区の避難訓練や児童館での季節行事に参加させて頂いたり、施設の行事に声を掛けさせてもらっている。            | 開設時から地域との交流を大事にして利用者が「住まい」を「事業所」に変えただけであるとの捉え方で、地域の中で当たり前の暮らしができるように支援している。職員は全員地元の人であることや運営者の人脈により地域と繋がりが広がっており、焼き芋大会などの事業所主催の行事にも多くの地域の方が参加している。                                         |                   |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | コロナ感染予防のため、ボランティアを受け入れなかった。                                                                              |                                                                                                                                                                                            |                   |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 4月からの運営推進会議はコロナウイルス感染予防のため書面会議方式で実施した。家族、地域役員、市役所宛に活動報告、身体拘束、ヒヤリハット、入居者状況等の状況を事前に提出し、頂いた意見を議事録として公開している。 | コロナ禍にある現在は、通常の会議が実施できていないが書面会議方式で実施している。基本的にはメンバーを固定をせずに検討課題に応じて、利用者、家族の他、老人会、民生委員、行政、地域包括支援センター職員などの参加を得ている。事業所からの報告事項の他に、ヒヤリハット事例や災害時の対応について等、意見交換が行われている。参加できない家族には会議録を送付し、内容の共有を図っている。 |                   |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる           | 事業所内にデイサービスセンターもあり、市役所担当者や包括の職員との交流もあり、連絡は密に取り合い、よい関係ができています。                                            | 行政職員が運営推進会議のメンバーであるため、日頃から運営の状況・利用者の状況については情報の共有が図られており、必要時には気軽に相談できる関係性が築かれている。地域ケア会議等への参加、認知症サポーター養成、男性介護者教室等と一緒に取り組み地域福祉の推進に貢献している。                                                     |                   |

| 自己 | 外部    | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                                                                               | 外部評価                                                                                                                                                                                |                   |
|----|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                                                | 実践状況                                                                                                                                               | 実践状況                                                                                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6  | (5)   | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員の身体拘束廃止委員会で事業所全体の学習会を行いながら、身体拘束に繋がることがないか話し合っている。玄関や施設内の非常口を含め、日中は施錠せず開放的な空間となるよう努めている。また、推進会議で事例報告を行い、検討・評価している。                                | 身体拘束防止については「委員会」の設置を行っており、毎年度計画実施している研修において、言葉による拘束も含めた身体拘束に当たる行為について学んでいる。また日々のケアの中で振り返りを行い身体拘束をしないケアを実践している。                                                                      |                   |
| 7  | (5-2) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 事業所内で虐待防止の研修を行っている。毎月のチーム会議や日頃から気付いたことや不適切なケアを行っていないか職員同士で意見交換を行っている。また、他の事業所で起きた事例についてもその日の朝礼で伝えるようにし、虐待防止に努めている。                                 | 職員は研修を重ねて認知症について学び、利用者一人ひとりを理解し、向き合いながら適切なケアの実践に取り組んでいる。「少し待って」「後で」などの言葉は使わずに、今の利用者の思いに応えるように、全職員が統一した意識を持っている。管理者・運営者は日ごろから職員の状況に気を配り、話しやすい環境づくりに努めている。                            |                   |
| 8  |       | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 権利擁護に関わる研修に参加している。今現在、制度の活用の必要性がある方はいないが、以前、ご家族に制度の事について質問された時には助言している。                                                                            |                                                                                                                                                                                     |                   |
| 9  |       | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 契約時は分かりやすく説明すると共に、一方的な説明にならない様、質問や疑問なども話しやすいように配慮している。                                                                                             |                                                                                                                                                                                     |                   |
| 10 | (6)   | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族の面会時には近況報告をすると共に、話しやすい関係作りに努め、その場で意見や要望をお聞きしている。意見や要望などは会議やミーティングの際に話し合い改善できるようにしている。また、情報共有が出来るように書面に残している。また、年2回家族会をもちご家族との交流を図り、意見交換の場としている。 | 年2回開催する家族会には全利用者の家族が参加しており、家族同士の意見交換や交流も行われている。日頃の面会時においても意見・要望を言ってもらえるよう声かけを行っており、気軽に意見が寄せられる関係づくりに努めている。家族から寄せられた「リハビリ実施の希望」については、事業所内の階段や外出の機会を多く持つなどの生活リハビリを計画的に実施して、要望に対応している。 |                   |
| 11 | (7)   | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 月に1回あるチーム会議に話せる機会がある。日々のミーティングの際にも意見交換ができており、運営に反映できている。                                                                                           | 職員は月1回のチーム会議の中で利用者の処遇検討の他、サービスの質の向上に向けたアイデアや提案を行い、管理者や運営者と話し合っている。また、日頃から行事に必要な物品や備品についても提案し、受け入れられている。                                                                             |                   |

| 自己                         | 外部 | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                        | 外部評価 |                   |
|----------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
|                            |    |                                                                                                | 実践状況                                                                                        | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12                         |    | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 個々の努力や実績、勤務状況を把握するように努めているとともに、それを評価できるように声を掛けている。                                          |      |                   |
| 13                         |    | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修は個人的に受講する意欲があれば参加できるようにしている。個々の力量に応じ、研修参加の機会を作っている。職場内の研修会は職員の力量や経験を踏まえての内容で行うように指導できている。 |      |                   |
| 14                         |    | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 職員が他施設を見学させていただき交流をしたり、職員対象の研修会に参加し、情報交換をしている。コロナ感染予防のため地域のグループホームとの交流は行っていない。              |      |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |    |                                                                                                |                                                                                             |      |                   |
| 15                         |    | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 本人の情報をご家族から聴き取るだけでなく、ご本人との会話を多くもち、不安にならないように努めている。入居や契約前に事前訪問し、地域の中での本人や生活習慣を把握できる様努めている。   |      |                   |
| 16                         |    | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 見学に来られた段階や入居申し込みをされる段階からお話しして頂ける雰囲気作りを大切にしている。要望や意見なども話して頂ける関係になれるように積極的に職員から話掛けさせて頂いている。   |      |                   |
| 17                         |    | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 入居の申し込み時や見学の段階で他のサービスや支援を必要としている場合は助言させてもらっている。優先させるべきサービスがあると思われる場合は担当ケアマネと連携し検討するようにしている。 |      |                   |
| 18                         |    | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 本人を生活のパートナーとして過ごし、調理や畑作業など生活の中の様々な場面で職員が学ばせて頂いている事に感謝し、共に生活を楽しむ関係を築いている。                    |      |                   |

| 自己                          | 外部    | 項目                                                                                  | 自己評価                                                                                                                        | 外部評価                                                                                                                                                                                                     |                   |
|-----------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                             |       |                                                                                     | 実践状況                                                                                                                        | 実践状況                                                                                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19                          | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている        | 面会時にはご家族に近況報告をするなど、会話を多く持つように努めている。本人と家族の関係性にも留意しながら、共に支えていけるようにご家族からの意見を大切にしている。また、定期的なご家族との通話や外出や外泊など協力して頂けている。           | 「生活の場を自宅から事業所に移行しただけ」という姿勢は家族にも理解してもらっており、家族会開催時には、居室のレイアウトや衣類の交換などを役割として担ってもらっている。事業所での宿泊と一緒に食事を摂ることも可能で、入居後も利用者と家族の関係を大事にしながら、利用者がより豊かな生活ができるように協働している。例として、入居以前から行っていた椎茸栽培用の原木をベランダに持ち込んで育てている利用者もいる。 |                   |
| 20                          | (8)   | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                    | 馴染みの美容室、地元のお祭り、自宅の畑に収穫に出掛けたりなどの外出支援やご家族や本人から得た情報で大切にしてきた関係の方や場所との繋がりを支援するよう努めている。面会に来られた方との過ごしやすい雰囲気作りにも配慮し、思い出に記念撮影を行っている。 | 利用者・家族から聴取した馴染みの場所や人との繋がりを大切にしている。入居以前に独居生活をしていた利用者が、旧友と昼食を持ち寄って日中自宅で過ごせるように支援を行ったり、勤務先を訪問したり、敬老会に参加する等、一人ひとりの利用者の馴染みの関係が途切れないように工夫しながら支援している。                                                           |                   |
| 21                          |       | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | 利用者同士の関係を大切にしており、食堂の席配置や、気の合う方同士で寄り合えるベンチやソファも設置している。性格や個々の気分によっても関わり方が違う方がいるので良い関係が継続できるよう配慮している。                          |                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 22                          |       | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居されたご家族との関係も良好で、施設の行事に参加を呼びかけたり、気軽に来所頂ける関係がある。他施設に移った際も、相談の電話があったりする。訪問もあり経過を見守っている。                                       |                                                                                                                                                                                                          |                   |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |       |                                                                                     |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 23                          | (9)   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | 介護計画書作成時には必ず本人の意向を確認している。本人が困難な場合にはご家族に確認し、職員で話し合い、日々のケアの中で思いをくみ取り本人の立場に立った視点で検討している。                                       | 日々の暮らしの中で利用者から「何をしたいか」「どんな風に過ごしたいか」を聞き取りながら、職員は常に利用者に関わり添って思いの把握に努めている。家族には面会時や担当者会議、家族会の中で聞き取っている。                                                                                                      |                   |
| 24                          | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | インタビューを取る際にできる限りの情報を聴き取りし、本人の生活歴を把握できるように努めている。センター方式のシートも活用している。新たに得た情報は常に書き入れている情報の共有ができるよう申し送りや連絡ノートを活用している。             | 入居前に利用者・家族と面談を行い、生活歴や、生活習慣等の情報収集に努めている。また、介護サービスを利用していた方等については、サービス事業所からも情報を得ている。入居後はセンター方式のアセスメントシートを活用し、利用者の思いを書き込みながら、職員間で共有するシステムが出来ている。                                                             |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                                                                               | 外部評価                                                                                                                                                   |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                                                               | 実践状況                                                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 個々の心身状態、有する力の把握をしており、活動時に、それぞれ得意なことや自信をもって行えるようにしている。日々の変化や気分の状態など細かい気付きも申し送り状態の把握や介護支援経過表で書面に残すことで共有に努めている。                       |                                                                                                                                                        |                   |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書作成時には本人、ご家族、チームでの話し合いを行い現状に即した内容であるよう作成している。日々のミーティングで気付きや意見交換をし、反映されている。                                                     | 入居前の面談により、担当職員と計画作成担当者で暫定プランを作成し、入居後1週間の中で、全職員で意見を出し合い正式プランを作成している。担当者会議には必ず家族の参加を得て、一緒に話し合っている。モニタリングや見直しについても職員の意見をまとめて、担当職員と計画作成担当者が一緒に作成している。      |                   |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護計画に添った個々の実践記録に記録している。また、職員間でのミーティングや共有連絡ノートを活用して情報の共有に活かしている。                                                                    |                                                                                                                                                        |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 個々のニーズに応じて、外出支援や地域の方、馴染みの方との交流が図れる様に支援できるよう努めている。本人の気持ちを汲み取った対応を心掛けている。                                                            |                                                                                                                                                        |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 地域資源の把握と共に、その方にとって地域の中での暮らしを楽しめるよう、自宅に外出支援するなど協働するよう努めている。                                                                         |                                                                                                                                                        |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                    | かかりつけ医はご家族、利用者の希望で決めて頂いている。施設の協力医に移行を希望される方については、情報提供を事前に提出するなど不安にならないよう対応し、受診はご家族と職員交互にお連れしている。また、職員で受診した際、状況及び家族へ報告し経過を記録に残している。 | 入居時に、以前からのかかりつけ医の継続と、協力医への変更を選択できる。協力医とはいつでも相談できる関係性ができており、空いている時間帯を電話で知らせてもらうなどの便宜も図られている。協力医への付き添いは事業所で行っているが、いずれも医療・家族・事業所での情報共有を行い、利用者の健康管理に努めている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している             | 同事業所内の看護師に気付きや対応の仕方など相談し助言頂いている。急変時なども連携し支援できる体制にある。                                                                               |                                                                                                                                                        |                   |

| 自己                              | 外部     | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                                          | 外部評価                                                                                                                                                                        |                                                                                                     |
|---------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 |        |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                   |
| 32                              |        | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院が必要になった際は口頭のみの説明でなく、書面でも本人の情報を送り医療機関と情報交換を行っている。また、ご家族が不安にならない様、説明させて頂き、ご家族の代弁が必要な時はお伝えするよう努めている。           |                                                                                                                                                                             |                                                                                                     |
| 33                              | (12)   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した場合や終末期における対応について施設の方針は入居の契約時に説明し同意を得ている。事業所として対応できる部分とそうで無い部分を見極め方針を決定できるよう必要時はご家族やかかりつけ医とも相談している。       | 入居時に終末期の対応・看取りについて、事業所の方針を利用者・家族に伝え、同意を得ている。現在は、医療依存度が高くなる事が予想される早い段階で、利用者・家族、かかりつけ医と相談しながら、利用者・家族が不安にならないように、次の生活の場への住み替えを支援している。現在、利用者・家族の意向として最期まで事業所で過ごしたいとの希望が寄せられている。 | 今後は研修への参加等で事業所として力を積み重ねながら、全職員が同じ方向に思いが統一することを大事にし、協力医との連携を図り、利用者・家族の思いに応えられる体制づくりに取り組んでいくことを期待したい。 |
| 34                              | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急時、急変時の対応について学習会を行っている。また、消防や警察の方に協力して頂き、消火訓練や交通安全指導会を開催した。                                                  | 「心肺蘇生法」や「AEDの取り扱い」については定期的に消防署の協力を得ながら研修を実施している。事故発生時のマニュアルは職員に配布されており、初期対応の実践研修には、外部から講師を招いて定期的の実施し、対応力を身に付けている。                                                           |                                                                                                     |
| 35                              | (13)   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 災害時に備えて、避難訓練を定期的の実施している。水害、地震、火災、夜間帯などを想定して訓練している。職員で緊急連絡訓練も行い、災害時の対応を周知徹底している。近隣の方に災害時の協力要請をしてあり、協力体制がとれている。 | 災害別のマニュアル作成や、避難経路の確認が行われている。年2回の法定訓練の他、地震発生時の訓練を実施し、また、地域の自主防災訓練にも参加して有事における地域との協力体制を確立している。職員は通報訓練の実施や利用者一人ひとりの避難方法について常に確認しており、災害に備えている。備蓄も的確に行われている。                     |                                                                                                     |
| <b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |        |                                                                                                                     |                                                                                                               |                                                                                                                                                                             |                                                                                                     |
| 36                              | (14)   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                                                      | 一人ひとりの人格を尊重し、排泄、入浴の声掛けや羞恥心に配慮している。その人に合わせた援助を行っている。情報の取り扱いについてもご家族にも説明し、プライバシーの確保に努めている。                      | 一人ひとりのその時の思いにすぐに応える事を基本としながら、本人の生活歴や習慣を大事にし、常に利用者本位で考えることを実践している。センサー方式のアセスメント様式を活用しながら、本人がしてもらいたい援助、いやな事などが、職員間で共有されている。                                                   |                                                                                                     |
| 37                              |        | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                                                        | 生活の中で本人の思いが話せるような声掛けや寄り添う対応、環境作りを心がけている。全員が同じではなく、個々の気持ちや気分によって分かりやすく、安心できる声掛けを行い、時間が掛かっても自己決定できるよう努めている。     |                                                                                                                                                                             |                                                                                                     |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                               | 自己評価                                                                                                                                   | 外部評価                                                                                                                                                                                      |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                   | 実践状況                                                                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員側の都合にならないよう、利用者それぞれのペースに合わせてゆっくり過ごして頂けるよう努めている。本人の希望にあわせ、個別に対応できるよう職員間で協力するようにしている。                                                  |                                                                                                                                                                                           |                   |
| 39 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 馴染みの美容院に行ったり、衣類の購入に出掛けたりしている。衣類の選択ができる様、本人の意見を大切にしながら更衣の支援を行っている。好みの日用品の購入などができるよう支援している。                                              |                                                                                                                                                                                           |                   |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事作りは職員が利用者と協力して行っており、個々の力や好みに合わせた作業をして頂けるよう支援している。利用者が主体となって取り組めるように、キッチンに入って味付けや盛りつけして頂くなど対応している。献立に季節料理や誕生日に、利用者の希望に合わせた料理を取り入れていく。 | 献立は職員が利用者の希望も聞きながら、地元産の食材、季節の行事食、郷土食なども取り入れて交代で作成している。また、定期的に管理栄養士の助言を得ている。利用者の中には魚をさばく事のできる方や、料理の得意な方なども多く、一人ひとりができる役割を担って食事作りを楽しんでいる。誕生会には手作りケーキを作り、季節ごとに笹寿司やそば打ち、おはぎづくりなど沢山のことを楽しんでいる。 |                   |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 栄養バランスを考慮したメニュー作りをしている。自分で摂取出来ない方や食事量にムラがある方、バランス良く摂取出来ない方には声掛けや必要な援助を行っている。水分摂取は個々の好みに合わせた飲み物や容器、ストローなど用意するように対応している。                 |                                                                                                                                                                                           |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎食後、口腔ケアの支援をしている。個々の状態に合わせて、見守りや介助をしている。なかなか行ってもらえない方にも工夫して対応を考え清潔保持できるよう対応している。また、口腔内に異常がある際は歯科への通院の援助も行っている。                         |                                                                                                                                                                                           |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている   | 日々の状態観察の中から、排泄の時間帯を察し声掛けや誘導を行っている。定時に誘導する方など、その方に合わせた対応、支援を行っている。                                                                      | 一人ひとりの排泄状況を確認しながら、時間誘導したり、本人のその日の状態を把握して、トイレでの排泄ができるように支援している。入居時より改善して布パンツで過ごしている利用者もいる。誘導時の声掛けも、「トイレ」等の文言を使わずに誘うように工夫している。                                                              |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                   | 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、個々に応じた対応を取っている。本人の好まれる飲料で水分摂取を促したり、毎日排便チェックを行っており、内服がある方については医師に相談したり、状態の報告をしながら調整し対応している。                             |                                                                                                                                                                                           |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                                                                                 | 外部評価                                                                                                                                            |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                 | 実践状況                                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 入浴の希望は一人ひとりに確認し、またご家族からの情報をもとに決めている。季節によって入浴の希望が変わる方もおり、対応している。入浴チェックを周知徹底し、清潔保持に努めている。入浴が楽しめるよう利用者と日帰り温泉に行き、入浴を楽しむ機会を持っている。         | 在宅介護サービスの利用を経て入居した利用者が多く、希望を尋ねても夕方からの入浴を希望する方はいない。基本的な時間等は定めているが、一人ひとりの希望や状況に応じて臨機応変に対応している。入浴中に歌を歌ったり、しょうぶ湯などの季節湯を楽しむ工夫を行っている。日帰り温泉に出かける機会もある。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 一人ひとりの生活習慣を大切にしており、消灯の時間を問わず、対応している。また、午睡の習慣が無い方や体調や気分によって休まれる場所が変わる方についてもその時々によって対応している。                                            |                                                                                                                                                 |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 内服一覧表があり全員の内服薬の目的、副作用については把握しており、服薬支援を行っている。また、状態の変化などは医師に必ず報告し、指示を仰いでいる。                                                            |                                                                                                                                                 |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとりの生活歴や力を把握するよう努めながら、生活の中での役割や趣味の継続が出来るように支援している。気分転換となる事も個々に把握し、対応できるように努めている。                                                   |                                                                                                                                                 |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの言葉に耳を傾け、希望を適えられるように支援している。虫見物、山菜採り、温泉への外出、地域のお祭りへの参加している。また、日頃から買い物や散歩など気分転換や楽しみとなるよう外出を取り入れている。馴染みの地域へ外出した際は地元の方からの協力も得られている。 | 近くのスーパーでの食材購入をはじめ、市場や事業所近くの公園には毎日のように出掛けている。利用者が外出を楽しみにしており、日帰り温泉や外食、季節の花見等に出掛ける他、皆で弁当を持参して公園で過ごすなど、事業所に閉じこもらない暮らしが支援されている。                     |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                             | 職員はリスクばかりに目を向けず、買い物に出掛ける時は個々の能力に合わせて財布を持って頂いたり、個人で常にもっておられる方もいる。希望に合わせてお金を使えるよう支援できている。                                              |                                                                                                                                                 |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                      | 知人や家族からはがきが届く方がおり、暑中見舞いなど返事を書き投函するまでを職員が見守りながら支援している。家族に電話する方もおり、リビングに設置してある電話の操作方法など援助している。                                         |                                                                                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                                                                                       | 外部評価                                                                                                                                                                               |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                       | 実践状況                                                                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間は季節にあった飾りや利用者が作ったパッチワークなどを飾っている。廊下には外出や行事の写真が貼られている。居間や廊下、リビングにソファやベンチを設置しており、入居者同士で気軽に話したり、テレビを観たり、一休みできるよう配慮している。ベランダには季節の花を植えたりし、心地よい空間となるよう努めている。 | 季節の生花を飾ったり、季節をモチーフにしたフェルト作品などを飾り、四季を感じられる工夫が随所に見られる。定期的に来訪する手芸の先生と一緒に作品を作って壁面に飾り、家庭的な共用空間となっている。また、随所にベンチや椅子が設置されており、利用者が思い思いに自由に過ごせる空間づくりが工夫されている。手すりの設置や空調にも配慮し居心地よく過ごせるようにしている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 気の合った方同士で居室の行き来があったり、ベランダにでて外を眺めたり、廊下のベンチで日光浴をされたり、居間で午睡や縫い物をされる方など思い思いに過ごされている。                                                                           |                                                                                                                                                                                    |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                           | 本人、ご家族の思いや希望に合わせ、馴染みの家具や装飾品、日用品、裁縫道具、遺影、家族写真などもって来られるよう声を掛けている。居室内の配置については、本人にとって障害にならないよう配慮し、過ごしやすい環境となるよう工夫している。                                         | ベッドと整理ダンスは備え付けられているが、他は自由に使い慣れた家具や日用品装飾品等が持ち込まれている。居室では好きな絵をかいいたり、本を読んだり、手芸を行ったり、椎茸を育てたりと好きな事をしながら、ゆったりと過ごせるように工夫している。                                                             |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 基本的に施錠は夜間のみで、居室の戸や窓は開放してある。エアコンやテレビ、携帯など本人の能力に合わせて説明し操作して頂いている。職員はリスクのことばかり考えるのではなく、本人の出来ることに目を向けるようにしている。                                                 |                                                                                                                                                                                    |                   |

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します |                                                    |                              |                |     |                                                                     |                              |                |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------|----------------|-----|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------------|
| 項 目                                                                  |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当する項目に○印 |                |
| 56                                                                   | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者の   | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族と    |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいの |     |                                                                     |                              | 2. 家族の2/3くらいと  |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいの |     |                                                                     |                              | 3. 家族の1/3くらいと  |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんど掴んでいない  |     |                                                                     |                              | 4. ほとんどできていない  |
| 57                                                                   | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                            | 1. 毎日ある        | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                            | 1. ほぼ毎日のように    |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 数日に1回程度ある   |     |                                                                     |                              | 2. 数日に1回程度     |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. たまにある       |     |                                                                     |                              | 3. たまに         |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどない      |     |                                                                     |                              | 4. ほとんどない      |
| 58                                                                   | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                            | 1. 大いに増えている    |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                     |                              | 2. 少しずつ増えている   |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                     |                              | 3. あまり増えていない   |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどいない     |     |                                                                     |                              | 4. 全くいない       |
| 59                                                                   | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   | 66  | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                            | 1. ほぼ全ての職員が    |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                     |                              | 2. 職員の2/3くらいが  |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                     |                              | 3. 職員の1/3くらいが  |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどいない     |     |                                                                     |                              | 4. ほとんどいない     |
| 60                                                                   | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                     |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                     |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどいない     |     |                                                                     |                              | 4. ほとんどいない     |
| 61                                                                   | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族等が   |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                     |                              | 2. 家族等の2/3くらいが |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                     |                              | 3. 家族等の1/3くらいが |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどいない     |     |                                                                     |                              | 4. ほとんどできていない  |
| 62                                                                   | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が   |     |                                                                     |                              |                |
|                                                                      |                                                    |                              | 2. 利用者の2/3くらいが |     |                                                                     |                              |                |
|                                                                      |                                                    |                              | 3. 利用者の1/3くらいが |     |                                                                     |                              |                |
|                                                                      |                                                    |                              | 4. ほとんどいない     |     |                                                                     |                              |                |